

## 6月議会活動報告

## 耐震の新庁舎建設へ

～秋にも検討委員会を発足～



いながき



いとう

3.11の大災害。地震、津波、原発事故。三重苦のきびしさ。被害、影響、波紋の広がり深刻さ。100日余を経て復旧、復興の姿は遠く、肝心の政治は液状化の状態。ボランティアが次々に被災地へ。そっと励ましのエールを送る大勢の人々。節電、放射能の恐怖。今回の事態を教訓に、安全と安心をどうはかるのか。それぞれの生き様をかけた思考、選択が問われています。

## &lt;老朽庁舎 崩壊の恐れも&gt;

市長は質問に答えて「生きた心地がしなかった」と大震災当日の心境を率直に吐露。はげしい揺れに「市長室の窓から2階テラスに飛び出した」と恐怖の体験を語るとともに、確定申告の時期でもあり来庁市民の避難、誘導と職員の安全を願った。現庁舎は古く耐震基準を大幅に下回っている。今回はガラス30枚程の破損だったが、地震の状況によっては崩壊の恐れもあるのではないかと懸念を明らかにしました。

## &lt;新庁舎建設の検討委員会発足を指示&gt;

東日本大震災では17の自治体で庁舎が流失や崩壊をしました。市長は現地の視察や全国市長会での情報もあり、危機に対処する「司令塔」の役割の大切さについても痛感したと述べるるとともに市民代表、学識経験者を含む▽新庁舎建設検討委員会の発足を指示したこと、資金のメドや住民の理解度によっては▽2期に分けて建てることも考えられることなど早期着手への意欲を表明しました。

## &lt;おあしすの隣 建設費は30億円&gt;

庁舎用地はおあしす隣に購入済み。人口増もあり庁舎の規模はいまの1.5倍を想定。耐震設計で建設費は30億円程の見込み。庁舎建設基金の積立ては9億5千万円。現在の用地を売却した場合、5.7億円前後が見込まれるとの推算も。将来合併しても、地域センターとしての庁舎は必要だと言うと強調。いずれももう一步踏み込んで答弁してほしいとの私たちの質問・要望に市長や担当部長が答えた内容です。※4月臨時議会などでの答弁も交えてご紹介しています。

## &lt;積極的関心と市民の英知を！&gt;

新庁舎問題は危機管理の視点だけでなく、吉川の未来を描くことになるのではないかと思います。賛成、反対を問わず、積極的関心を寄せ市民の英知が結集できるようにと願っています。

ご参考に！秩父市では5階建ての古い本庁舎で今回ガラス80枚が破損。翌日から事実上閉鎖し、4月庁舎建設準備室を発足させました。6月からは全面的に出入りを禁止しているとのことです。

いながき・いとうの

6月議会報告

どなたでも

7月3日(日)

午前10時30分～12時30分

おあしすミーティングルーム4

いながき茂行 栄町782番地1C-1101 TEL 983-1628

Eメール imachiyoshikawa@gmail.com

いとう 正勝 きよみ野2-8-2 TEL&amp;FAX 983-1117

Eメール itoh72@nifty.com

\*市民改革クラブ ホームページ リニューアルしました\*

http://www.geocities.jp/kaikakclub/

## 新保育所2ヶ所 来春にオープン

いとう 正勝

待望の保育所が駅前（南口駐輪場の一部活用）と中曽根小裏手（三郷にちかい用水沿い）に来年4月オープンします。関連の一部予算を6月議会で承認。（本会議で稲垣、委員会で伊藤が詳細に質疑。）

▽吉川駅前保育所。定員80人、0歳～5歳児。鉄骨2階建、500㎡の園庭も。開所時間は7時～20時。20時までの延長は初めて。経営は市の第3保育所を民営で受けている同じ社会福祉法人。用地は市が貸与。建設費は半分を国、市が基準の4分の1を補助の方針。  
▽花園保育所。定員60人。木造2階建。開所時間は7時～19時。経営はさいたま市の社会福祉法人祥和会。年齢別定員などについては現在協議中。2ヶ所とも8月までに詰めの話し合いを行い、9月までに着工の見通し。※吉川の待機児童

は3月のピーク時で150人余。新設の2ヶ所で数字の上ではほぼ満たされることになります。

▽お日さま園。通称幼児教室（NPO法人）別途社会福祉法人を取得し、25年度保育所として再スタートしたい意向。いまのところ法人格の取得が出来るかどうか定かでない情勢。

## 新駅は来年3月開業 武操跡地は一括売却へ

吉川新駅建設、武操跡地整備（JRと運輸機構）は、計画通りに進んでいます。新駅は3月のダイヤ改正に合わせて開業。武操跡地（30ha）は早ければ秋にも一括して公売に。跡地の土地利用計画は新駅周辺が業務・商業エリア。その他は低層住宅、中高層住宅エリアなど。この土地利用計画に沿って運輸機構が一括売却することになります。お隣の三郷側武操跡地（50ha）は三井不動産が基盤整備の前に一括して購入、民活でいまの姿になっています。

## 市長選での「怪文書」 事実無根とのこと

先の市長選挙に際して一部地域で現職の資産形成や事業発注をめぐり癒着や疑惑があるとのビラが配布されました。「多選と利権」の視点でその真偽を問い質してほしいとのメール、ファックスなどもあり取り上げました。市長は6項目の指摘について個別には答えず、いずれも「事実無根」と一蹴。自民党議員からは失礼ではないかとの不規則発言もありました。

職務として30年前ロッキード事件担当の政治デスクを務めました。トップとしての誇りや自負は理解し尊重するものの、公人には釈明、説明する責任もあるとの立場で臨みました。―このことも壇上から紹介しました。  
揚げ足とりや嫌がらせは受け付けません。具体的な事実があればご指摘下さい。



6月議会は2日～16日まで開催。8議案を審議し、全議案を可決。内容は、専決処分事項の報告・承認。議案は、条例等の改正及び工事請負契約の締結5件及び一般会計補正予算と人事案件（固定資産評価員山崎信夫氏・審査委員会委員水村英夫氏を選任）。

### 議案審議 6日

市条例の一部改正（東日本大震災に係る雑損控除額等の特例と美南小学校設置の条例等）を審議。

工事請負契約の締結は、吉川美南小学校建設工事について。建築（戸田建設関東支店）・電気設備（村川電気工業）・機械設備（ナカノヤ吉川支店）で、工事契約額は総額で20億8千6百88万円。電気設備工事の入札では、参加28社中、23社が最低制限価格を下回ったとして、失格となった。

### 委員会審査 7日

文教福祉委員会（伊藤）では、美南小学校と保育園、総務水道委員会（稲垣）では新庁舎に関連した内容をそれぞれ詳細に質疑。建設生活委員会は8日に開催。

### 一般質問

①災害時のトイレ対策②産業廃棄物中間処理業者進出③集団フッ素洗口・塗布の中止を（稲垣）

①「3・11」大惨事について②「新駅」進捗状況③「怪文書」について④「公共事業」の発注等について（伊藤）

## 災害時トイレ対策 の充実を！

いながき 茂行

人間は「生き物」である以上  
食べて排泄をする。

とりわけ、被災者にとって「ト  
イレ」は心身の健康を守るライ  
フラインであり、大切なインフラ。  
同時に、被災地での公衆衛生の  
確保に重要な役割を果たすも  
のです。今回の東日本大震災で、  
その重要性が再認識された。

個人にとつては切実な問題、  
行政にとつても大きな課題であ  
る「災害時のトイレ対策」の充実  
を提案、質問。

### マンホールトイレを 設置すべき

下水道のマンホールをトイレ  
として活用し、排泄物を直接  
流す仕組み。災害時にマンホ  
ールのフタを外し、テントと便器  
(洋式)を設置して使用する。

東松島市ではすでに下水道  
総合地震対策事業(国交省)を

活用し、市内5ヶ所で整備。快  
適なトイレが活躍、その有効性  
が確認された。仮設トイレは和  
式中心。狭い・臭い・汚い、その  
上段差も。子ども達だけでなく  
老人や障害者には使いづらく、  
ガマンして病気になることも。

災害時及び復旧時のトイレ・  
し尿対策を総合的災害対策と  
して位置付けると共に、避難所  
や公共施設に、マンホールトイレ  
と井戸(手押し)を設置するよ  
う提案。市は今後検討と。

### 産業廃棄物中間処理 業者の進出にあたり

小松川の工業専用地域内に  
産業廃棄物中間処分業者(㈱エ  
スオーティ(八潮市)が進出を計  
画している。3月に許可申請  
を埼玉県に行い、産業廃棄物  
指導課で現在事前審査中。

市の環境保全協定制度に基  
づき、近隣自治会等にこれまで  
5回の説明会が実施されたが、  
市民の理解は得られていない。

最も大きな問題は、粉塵対  
策。県の事前審査では、「中間

処分施設は原則として建屋内  
に設ける。粉塵・悪臭対策が適  
正に行われていること」等につい  
て指導が行われる。

しかし、予定地の上に高圧  
線(27万5千ボルト)が通ってい  
るため、建造物が出来ない。電  
気事業法による規制や、「地役  
権」が設定されている。

「屋根に代わるメッシュや集塵  
機等を使い、建屋内と同等の  
環境整備するよう」業者・県に  
働きかけると共に、住民の目線、  
立場で対応するよう求めた。

市は日弁連の意見書を  
謙虚に受け入れるべき

効果も薄く、安全性に問題が  
あり、行政の施策としても違法  
性の疑いがある。とした日弁連  
の「集団フッ素洗口・塗布の中  
止を求める意見書」。一部の保  
育所や小学校で実施されてい  
るがこの際、止めるべき。また、  
今後設置されるフッ化物応用  
協議会は「始めに結論ありき」  
の会議とまらない様  
に、と指摘。



### 県議会議員『中原恵人』

全てが対象的だった。若く爽やか  
な青年、明るくクリーンな印象。政  
治の垢に塗れていない無名の新人  
候補『中原恵人』。

事前の評価では、全く問題外で新  
聞社の取材もなかった

勝因は、本人の魅力。甘いマスク  
と志、そして、意思の強さ。4ヶ月  
間駅頭で示した。

また、産婦人科医として親子で活  
躍している大久保家の存在。とり  
わけ、妻の果たした役割。

普段、投票に行った事もないヤンマ  
マ達に、『夫の首に縄を付けてでも  
一緒に投票に行く』と実行させた  
力は大きかった。そして、選挙を一  
緒に戦った応援団の力も。

全てが型破り、常識はずれ。『選  
挙カーに乗らない、演説しない、回  
りの言うことは聞かない』候補者だ  
った。全てが中原流。

素人選挙そのものだった。私が選  
对本部長を務めたぐらいたから、  
三師会の先生方をはじめ、ほとんどの  
支援者が、選挙の応援は初めて  
という方々だった。

ちよつと変で面白い、魅力的な若者  
と中年が彼に吸い寄せられ、繋がっ  
て、夢中になり、最後までがんばっ  
た結果の勝利だった。

しかし本場の勝因は、市民の気持  
ち、空気の变化だったと思う。

中原さんに代わって、選挙カーに乗  
っていた私に、ご婦人方は『あなた  
が中原さん?』とけげんそうに聞  
き、先々で『そろそろ、代わってほし  
い』と訴えられた。もし『時期と相  
手』が違っていたら恐ろしいことに。

平成23年 夏 いながき茂行



# 防災の総点検と見直しを！

～自助も 共助も 公助も～



## 防災計画の見直し

埼玉県は、見直しが必要なテーマとして▽災害対策本部の体制▽帰宅困難者▽放射能汚染▽避難所の設置と運営▽備蓄物資の5項目としています。

吉川市としても今回の事態を受けて実際に役立つ防災計画を整備してほしいと指摘。これに対し担当の部長は総点検し、先行の自治体の取り組みも参考に早期に見直しを進めるとの意向を明らかにしました。特に備蓄物資とともに備蓄倉庫の整備、避難所の開設と周知・運営、市民以外の避難者への対応、放射線汚染対応、それに防火や住宅の耐震化、ライフライン（水道、電気、ガス、通信）などがテーマになるものとみられます。

## 応急の備え

6月補正予算では応急の防災対策費として1780万円が計上され、質疑の上承認しました。  
▽防災無線の音声調査。一部地域で音声が届き取れないとの苦情。いちよう通り、けやき通りなどで調査を実施へ。  
▽災害用備蓄品の補強。1. 新に毛布2千枚（計6千枚に）。2. 飲料水（2ℓペットボトル、7千本）。3. アルファーマイ2千食分の追加（計1万6千食分）。4. 簡易トイレ4千回分を追加（計1万7千4百回分に）。5. 携帯型移動無線機、16台購入（計22台へ）、災害対策本部と17の避難所の連絡などのために。6. 懐中電灯（175灯）。ヘッドランプ（100個）の購入など。

## 放射線測定

幼稚園や学校、幼児の保護者などから運動場やプールの放射線量測定を求める声が寄せられています。吉川市では個別に対応するとともに6月から市内12カ所で毎週木曜日に定期的に測定を実施。結果は翌日市ホームページに掲載しています。これまでのデータは基準値を下回り、安全上問題はないとのことです。

吉川、松伏消防本部では放射線対策として新に簡易防護服100着を購入。放射線測定器は国が新たに1台を貸与（消防・計2台。吉川市1台）。携帯線量計5台なども備えました。

12カ所の測定場所。市内7小学校の他旭公園球場、市民プール、中井沼公園、第1保育所、三輪神社。

「イラ菅」総理以上に、国民はイラついている。  
被災地・被災者をそっちのけで繰り広げられる、永田町の猿芝居にウンザリしている。進まない復旧・復興、見通しがつかない原発事故の処理。  
これまで、原発の安全性・必要性・経済性を国民に説き、推進に関わってきた政・官・業そして学者、マスコミの皆様は、福島事故現場に入るべきではない。との思いもあるが、今は己の「責任」を果たしてほしい。  
地震と津波そして原発事故は多くの生命と平穏な生活、仕事、地域や町そのものまでを奪い、悲しみと不安をもたらした。放射能は、子ども達を傷つけ、

**災害対応力** 千年に一度。この大災害について総点検し、防災の在り方を見直す作業がこれから本格化します。▽阪神・淡路大震災のあと、国の災害対策基本法には「自保の責務」とともに「住民の責務」が加わりました。家庭で（自助）、地域で（共助）、役所（公助）で三位一体で「向き合い」「備え」、被害を最小限に抑えたいとの姿勢が込められています。  
関東大震災（1923年9月1日）では10万人を超える犠牲者が出ました。多くは地震後の火災による焼死者で、外国人が放火しているとのデマも飛び交い大混乱しました。▽阪神・淡路では倒壊、焼失の家屋10万棟のうち、80%以上は筋交いなどない古い建物でした。  
今年2月のニュージーランド・クライストチャーチの直下型地震。この時ビルの崩壊で日本人留学生など181人が死亡しましたが、耐震構造の多くのビルは崩れず、安全でした。今回の大災害でも耐震設計のビルや住宅は地震による被害は少ないとの話も伝わってきます。▽検証作業に注目！災害史に学んで、それぞれの場で「減災」へレベルアップを願っています。  
（いとう）

魚や野菜、工業製品にまで影響が及んだ。メイドイン・ジャパンのだけでなく「日本」そのものの信頼・信用が失われた。  
大地震・津波は「天災」。原発事故は「人災」というが、想定外の連発や、その後の対応を見ると「人災」が大きいと感じる。民主党の体たらく、菅内閣の無為無策、野党の無責任対応、お役所仕事。責任は重い。  
復興には、国を挙げての取り組みが必要、政治の果たす役割は大きい。まともな政治家を選び、育てていくことが、やはり復興の第一歩。どんな国を目指すにしても、「人」が必要だと、つくづく思う。  
（いながき）